

令和元年度 第3回 政策調整会議 会議録②

◆開催日時:令和元年6月11日(火) 09:30~12:00

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

- ・令和2年度国家予算に対する要望について……………企画課⇒承認
- ・令和2年度大阪府予算に対する要望について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『令和2年度国家予算に対する要望について』

『令和2年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉上東企画課長、井上担当長、北村担当員、前田担当員

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈土佐副市長〉国への要望について、大阪府議会議員団を通じて要望するとはどういうことか。

〈企 画 課 長〉自民党大阪府議会議員団から、府内全市町村に向け、要望等がある場合は申し出るようにという旨の照会があるので、それに対し要望を提出すると、府議団から国にその要望事項を伝えるという流れになる。

〈土佐副市長〉市から各省庁に出向く必要はないということか。

〈企 画 課 長〉必要ない。後日、府議会議員に要望を述べる場がある。

〈土佐副市長〉9件ある要望のうち、6件については、府と同じベクトルで動いているため、そこまで強調する必要はないと思うが、そうでない3件については、ひとつひとつポイントを明確にする必要がある。たとえば、蜻蛉池公園に広域防災拠点のバックアップ機能を持たせることについて、府の昨年度の回答は、広域防災拠点について新規拠点設置は困難となっており、議論もそこで終わっている。さらなる主張ができるように、論点を整理されたい。市長も含め全員が同じ情報を共有し、同じ方向で主張し続けなければならないことを再確認する必要がある。

〈土佐副市長〉貯木場の利活用について、活用したいという企業も出ていたが、現状どうなっているのか。

〈小山副市長〉事務レベルでは進みつつあると聞いているので、直近の状況を踏まえて強く要望することが必要。実際に企業からの希望があることも併せて府議会議員に要望していく。直近の状況を確認されたい。

〈企 画 課 長〉具体的な事業者のニーズを把握していることや、今後の方針についての協議等は進んでいるはずだが、さらに状況を詳細に説明できるように準備をしておく。

〈土佐副市長〉岸の浦大橋の4車線化について、水道の問題が大きいのか。現在の橋でさらに太い水道

管を設置することはできないのか。

〈井上担当長〉重量の問題から難しいと聞いている。企業誘致を推進する本市の立場からすると、誘致に際し水道使用量について制限があるという条件付与をしているということ避けたい。一方、企業側からは、交通事故等が起こった時の橋が不通となるリスクをなくしてほしいとの要望があると聞いている。

〈小山副市長〉府は現在の交通量を見て必要ないとするが、今後、現在空いている用地が埋まった場合、その時点からの整備では時間がかかる。企業誘致を推進するにあたり、当初の4車線構想を早急に実現するよう強く求めていく必要がある。

〈土佐副市長〉実際に水の供給量が少なすぎることで進出を断念した企業があるなど、実害が出てきている点を強調してはどうか。

〈小山副市長〉府議会議員の賛同が得られるよう、わかりやすい説明ができるように準備されたい。

〈土佐副市長〉進捗のある6件については、簡単に内容を説明できる程度でも問題ないが、進捗のない3件についてポイントを整理おくように。

〈小山副市長〉本内容で政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和元年6月3日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和2年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和2年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 井上担当長 北村担当員、前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和元年度 第3回会議
付議事項	令和2年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
国の厳しい財政状況により、国から本市への補助金の減少が懸念される。

＜課題＞
国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。
なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	目標値				
						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。

令和元年6月3日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和2年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和2年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 井上担当長 北村担当員、前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和元年度 第3回会議
付議事項	令和2年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
大阪府の厳しい財政状況により、大阪府から本市への補助金の減少が懸念される他、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

＜課題＞
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	目標値				
						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。